

平成28年1定 一般質問 開催状況

開催年月日 平成28年3月10日

質問者 民主党・道民連合 広田 まゆみ 議員

担当部課 総合政策部政策局

質問要旨	答弁要旨
<p>一 人口減少時代の産業振興・地域振興のあり方について (一) 道の役割について</p> <p>通告に従い質問いたします。まず、人口減少時代の産業振興・地域振興のあり方について伺います。</p> <p>まず、道の役割について伺いますが、知事は執行方針の中で、人口減少危機突破、世界に輝く北海道の実現に向け、総力をあげて北海道創生を加速する、また、広域自治体である道として、特区制度など、多様な政策手法の活用を努めていく考えを示されました。</p> <p>そこで伺いますが、まず北海道において、今取り組まねばならない課題をどのように認識し、どのような方向性での特区制度の活用などを検討されているのか、具体的に伺います。</p> <p>また、北海道の強みを発揮し、地域や市町村自治体の挑戦を応援するためには、道として積極的に、戦略的に中央政府との法的対峙・法的対話の姿勢を明確にする必要があると考えますが、知事としては、道の役割についてどのようにお考えか伺います。</p>	<p>〔知事〕</p> <p>広田議員のご質問にお答えをいたします。最初に人口減少問題などに関し、まず、特区制度の活用などについてであります。人口減少問題など幅広い分野にわたる取組が求められる政策課題については、経済・雇用、生活環境整備、さらには子育て、教育など既存の枠組みを広げて、総合的な対応が求められることもあると認識をいたします。</p> <p>このため、現在北海道だけが活用可能な道州制特区をはじめとする特区制度を用いるなどして、今後、地域創生を進めるための様々な施策に関する提案の検討を積極的に行ってまいりたいと考えております。</p> <p>また、私自身、総理をはじめ、関係大臣や国会議員の方々との面談の際には、本道の現状を単に説明するのみならず、産業振興施策や交通ネットワーク整備など様々な観点から率直な意見交換や提案なども行っているところであり、今後とも、効果的な施策の推進に取り組んでまいります。</p>